

第〇学年 外国語科学習指導案【Tokushimaモデル】

「言語活動を通して」児童に身に付けさせたい資質・能力を育成することが求められています。何のためにコミュニケーションを図るのかという、その活動を行う目的や場面、状況等を明確にし、それを児童と共有することが大切です。児童の姿を具体的にイメージしながら作りましょう。

日時 ○〇年〇月〇日 (〇) 〇校時
 指導者 HRT ○〇 ○〇
 ALT ○〇 **JTEの場合もある。**
 場所 ○〇〇〇教室

- 1 単元名 初めて会うALTの先生に自己紹介をしよう！
 (参照：○○○○○)

この単元での児童のゴールの姿が表れるような単元名を考えてみましょう。

- 2 単元について
 ○児童観
 ○教材観
 ○指導観

学級の児童の実態やこれまでの外国語の学習経験、教材の内容・価値等や本単元の目標等に触れながら簡潔に書く。単元終末の言語活動については、目的や場面、状況等を具体的に示す。

単元終末の言語活動として、本校に〇月に・・・するALTに向けて、・・・もらうために、・・・をし、・・・をする。・・・をすることで、・・・を味わわせたい。

児童のやってみようという意欲を喚起するような、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を設定しましょう。単元を通して言語活動を行う目的や場面、状況等を常に児童に意識させましょう。

- 3 単元の目標

児童の立場から書く。

自分のことをよく分かってもらったり相手のことをよく分かったりするために、好きなものやこと、できることなど、自己紹介に関することについて具体的な情報を聞き取ったり、伝えようとする内容を整理した上で、話したりすることができる。また、自己紹介に関することについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。

目標の記述は、資質・能力を総合的に育成する観点から、三つの柱に分けずに文で示す。

- 4 該当する学習指導要領における領域別目標

本単元に該当するものを記載しましょう。

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと [発表]	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

※「聞くこと」については、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

- 5 単元の評価規準

観点ごとに指導者が単元の中で求める児童の具体的な姿(目標が達成された姿)を書く。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	〈知識〉 自己紹介に関する語句や、I (don't) like～. I can/can't～. My birthday is～. I'm～. の表現について理解している。 〈技能〉 好きなものやこと、できることなど、自己紹介に関することについて、話す技能を身に付けている。	自分のことをよく分かってもらうために、 <u>好きなものやこと、できることなど、自己紹介に関することについて</u> 、話している。 ※ ----- 目的等 ===== 事柄・話題	※次単元と合わせて、記録に残す評価を行う。 単元の目標と評価規準を一致させ、年間で3観点5領域をバランスよく評価します。全ての単元で3観点から評価しなければいけないものではありません。
書くこと	〈知識〉 自己紹介に関する語句や、I (don't) like～. I can/can't～. My birthday is～. I'm～. の表現について理解している。 〈技能〉 好きなものやこと、できることなど、自己紹介に関することについて、書く技能を身に付けている。	自分のことをよく分かってもらうために、 <u>好きなものやこと、できることなど、自己紹介に関することについて</u> 、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて例文を参考に書いている。	※次単元と合わせて、記録に残す評価を行う。

6 単元の指導と評価の計画（8時間）

時	目標（◆）と主な活動（○）	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	評価方法
4	◆自己紹介を聞き取ったり、誕生日を含めて自分のことを話したりできる。 ○Let's Chant ○Activity ○振り返り				※本時では、記録に残す評価は行わない。
7	◆自分のことをよく分かってもらうために、好きなものやこと、できることなど、自己紹介に関することについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いたり、それをもとに話したりできる。 ○Small Talk ○Activity ○振り返り		書 書		行動観察・ワークシート記述分析
8 本 時	◆自分のことをよく分かってもらうために、好きなものやこと、できることなど、自己紹介に関することについて、伝えようとする内容を整理した上で、話すことができる。 ○Activity ○振り返り	発	発		行動観察

7 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標（第○学年）

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
各校で定めている「CAN-DOリスト」を記載し、学習到達目標との関連を明確にしましょう。				

8 本時の活動（第8時）

1ページにおさめる。

- (1) 目 標 ～することができる。
(2) 展 開

時間	児童の活動	指導者の活動		指導上の留意点 ◎評価規準〈評価方法〉
		HRT	ALT	
2分	Greeting			・英語で挨拶し、楽しい授業が始まる雰囲気をつくる。
	Small Talk	本時のめあて		
	Activity 1			児童と共有し、児童に学習への見通しをもたせましょう。
	Activity 2			◎～している。〈行動観察〉 ◎～している。〈行動観察〉
	Reflection			
	Greeting			

(3) 評価及び指導の例

「話すこと [発表] の知識・技能」

「十分満足できる」と判断される状況(a)	「おおむね満足できる」状況(b)を実現した児童が、さらに質的な深まりや高まりをもっている姿を具体的に想定して記述しましょう。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	
「努力を要する」状況(c)と判断した児童への事後指導し、.....よう個別支援を行い、.....しながら「おおむね満足できる」(b)を達成できるようにする。	指導の手立てを具体的に記述しましょう。

「話すこと [発表] の思考・判断・表現」

「十分満足できる」と判断される状況(a)
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導
「努力を要する」状況(c)と判断した児童への事後指導し、.....よう個別支援を行い、.....しながら「おおむね満足できる」(b)を達成できるようにする。

【参考資料】

- 国立教育政策研究所 令和2年3月
「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」
- 文部科学省 平成29年7月
「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編」
「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」
- NITS 独立行政法人教職員支援機構・文部科学省 令和2年3月
「令和元年度小学校における外国語教育指導者養成研修」(直山木綿子 視学官研修資料)
- 文部科学省 平成31年3月
「小学校, 中学校, 高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について」